

報告第25号

一般財団法人つくば市国際交流協会の経営状況を説明する書類について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定に基づき、次のとおり提出する。

令和5年9月5日

つくば市長 五十嵐立青

# 2022年度 事業報告

〔 自:2022年4月1日  
至:2023年3月31日 〕

一般財団法人つくば市国際交流協会

## 1. 一般的事項

### (1) 組織及び人員

一般財団法人つくば市国際交流協会の組織は、総務課のみであり、2022年度における役員及び職員等の数は以下のとおりとなっている。

(単位:人)

役員		職員	
理事長(非常勤)	1	事務局長(市派遣職員)	1
常務理事	0	総務課	2
理事(非常勤)	9	総務課(市派遣研修職員)	1
監事(非常勤)	2	総務課(会計年度任用職員)	2
		印紙証紙売りさばき所(会計年度任用職員)	3
計	12	計	9

### (2) 評議員会

第1回評議員会(2022年6月6日)(つくばカピオ中会議室)

- (ア) 2021年度計算書類について承認
- (イ) 理事の選任について承認
- (ウ) 評議員の選任について承認
- (エ) 監事の選任について承認

### (3) 理事会

第1回理事会(2022年5月25日)(つくばカピオ中会議室)

- (ア) 2021年度事業報告及び計算書類について承認
- (イ) 理事の選任について承認
- (ウ) 評議員会招集について承認

第2回理事会(2022年9月29日)(つくばカピオ中会議室及びZOOM)

- (ア) 2022年度第1回補正予算承認
- (イ) 2022年度の進捗状況及び課題について協議
- (ウ) 2023年度事業計画の方針について協議
- (エ) 理事長による職務執行状況の報告

第3回理事会(2023年2月20日)(春日交流センター大会議室及びZOOM)

- (ア) 2022年度第2回補正予算承認
- (イ) 2023年度事業計画及び収支予算書について承認
- (ウ) 借入金最高限度額の承認について承認
- (エ) 理事長による職務執行状況について報告

臨時理事会(2022年6月6日)(つくばカピオ中会議室及びZOOM)

- (ア) 理事長の選出

## 2022年（令和4年）度事業計画（方針）

当協会は、2013年（平成25年）2月に一般財団法人として設立され、同年4月から業務を開始し8年が経過しました。

2022年（令和4年）2月1日現在、つくば市には133か国9,773人の外国人が居住し、国籍別では、中国籍者が最も多く、次いで、ベトナム、韓国、インド、フィリピンの順となっています。特に、ベトナム国籍者は2013年と比較して約7.7倍となっています。

このような中、2020年（令和2年）初頭から始まった新型コロナウイルス感染拡大は今もおさまる気配はなく、当協会事業においても、一部で中止や延期など当初の計画どおりに実施できない状況が続いています。

一方で、大人から子どもまで幅広い世代に対する日本語支援は、年々必要性が増しています。コロナ禍においては、特に大人に対してオンラインを活用しながら事業を進めておりますが、多くのボランティアや団体等のご協力が欠かせません。

しかしながら、長期間にわたる継続的なボランティアへの研修が必要になるなど、オンラインならではの課題や、共働き家庭の増加などの影響もあり、活動できるボランティアの確保が難しくなっています。

2023年（令和5年）は、当協会の財団法人化から10年が経過し節目の年になります。

また、同年のつくばセンタービル、リニューアルに合わせ、当協会に求められている国際交流機能について、関係各所と検討する必要があります。

2022年（令和4年）度は、このような状況に鑑み、引き続き、行政、教育関係及び関係団体等と連携し、より強い体制を整えるとともに、下記の3点を重点目標として取り組みを進めます。

### 1. コロナ禍及び収束後を想定した事業計画

新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底しながら対面で事業を行えるように工夫します。また、オンラインを活用することで自宅や職場などから事業に参加することが可能となったため、コロナ禍に得た新たな手法を積極的に取り入れます。

### 2. ボランティアが参加しやすい環境づくり

これまで当協会では、多くの事業をボランティアの皆さんと共に実施してきましたが、新型コロナウイルスに感染することへの懸念や共働き家庭の増加、労働年齢の延長などにより、従来の内容では、活動できるボランティアの確保が難しくなりました。これらのことから、ボランティアが参加しやすい事業展開を検討し実施します。

### 3. 協会10周年事業及びつくばセンタービル、リニューアルに伴う、当協会に求められる国際交流機能の検討

2023年（令和5年）は、当協会の財団法人化から10年が経過し節目の年になり、つくばセンタービル、リニューアルオープンに合わせ、当協会がつくば市や市民などから求められている国際交流の機能について、改めて検討する必要があると考えています。

ついては、10周年事業のための実行委員会を発足させ、2023年のリニューアルオープンに新たな取り組みを始められるよう準備を進めていきます。

## 2. 2022年度事業概要 年度別事業計画比較表

今後も、当協会が多様な人々と共に歩むための、外国人支援や市民交流のあり方等について、市や関係機関と連携しながら協議を進めます。

### 国際交流事業

2022年度事業計画	
<b>A 外国人生活支援事業（対象：外国人）</b>	
1	日本語（大人向け） (ア)日本語講座 (イ)日本語ボランティア講師入門講座
2	こども日本語・就学進学支援 (ア)こども日本語指導者研修会 (イ)こども日本語勉強会（日本語学習相談） (ウ)小中学校就学・高校進学ガイダンス (エ)こども日本語支援プラットフォーム会議
3	医療通訳ボランティア育成・派遣（ <b>拡充</b> ）
4	メディカル英会話講座
5	やさしい日本語で防災講座（ <b>新規</b> ）
6	ウクライナ避難民支援事業（ <b>新規</b> ）
<b>文化交流事業（対象：日本人・外国人）</b>	
1	フェスティバル（国際交流フェア）
2	文化交流 (ア)世界お茶のみ話 (イ)日本・外国文化体験
3	姉妹友好都市交流（ <b>拡充</b> ）
4	おもてなし英会話（ <b>名称変更</b> ）
5	通訳・翻訳・ホームステイ・文化紹介ボランティア募集・派遣 (ア)通訳・翻訳・ホームステイ・文化紹介ボランティア募集・派遣 (イ)ボランティア交流会（ <b>新規</b> ）
6	シティーチャットカフェ
<b>C 情報収集・周知・ニーズ調査事業（対象：外国人・日本人）</b>	
1	ホームページ・facebook・Link!発行・ニーズ調査（座談会）
2	賛助会員募集
3	10周年記念事業準備会（ <b>新規</b> ）
<b>旅券発給支援事業</b>	
<b>D 旅券発給支援に関する事業（対象：日本人）</b>	

2021年度事業計画	
<b>A 外国人生活支援事業（対象：外国人）</b>	
1	日本語（大人向け） (ア)日本語講座 (イ)日本語ボランティア講師入門講座
2	こども日本語・就学進学支援 (ア)こども日本語指導者研修会 (イ)プレスクール・プレクラス (ウ)こども日本語勉強会 (エ)こども日本語支援プラットフォーム会議
3	医療通訳ボランティア養成・派遣
4	メディカル英会話講座
5	外国人のための相談室（ <b>廃止</b> ）
<b>B 文化交流事業（対象：日本人・外国人）</b>	
1	フェスティバル（国際交流フェア）
2	文化交流 (ア)世界お茶のみ話 (イ)日本・外国文化体験 (ウ)世界のうまいもんをつくばで（ <b>廃止</b> ）
3	姉妹友好都市交流（1年延期）
4	やさしい英語でおもてなし講座
5	通訳・翻訳・ホームステイ・文化紹介ボランティア募集・派遣
6	シティーチャットカフェ
<b>C 情報収集・周知・ニーズ調査事業（対象：外国人・日本人）</b>	
1	ホームページ・facebook・Link!発行・ニーズ調査（座談会）
2	賛助会員募集
<b>旅券発給支援事業</b>	
<b>D 旅券発給支援に関する事業（対象：日本人）</b>	

## 2022年（令和4年度）度つくば市国際交流協会事業一覧表

**国際交流事業** ※（新規）（拡充）は、前年度当初計画との比較

<b>A 外国人生活支援事業（対象：外国人）</b>	
1	日本語（大人向け） （ア）日本語講座（拡充：対面授業の復活拡大、講師の待遇改善） （イ）日本語ボランティア講師入門講座
2	こども日本語・就学進学支援 （ア）こども日本語指導者研修会 （イ）こども日本語勉強会（日本語学習相談） （ウ）小中学校就学・高校進学ガイダンス （エ）こども日本語支援プラットフォーム会議
3	医療通訳ボランティア育成・派遣（拡充：オンライン通訳の導入）
4	メディカル英会話講座
5	やさしい日本語で防災講座（新規）
6	ウクライナ避難民支援事業（新規）
<b>B 文化交流事業（対象：日本人・外国人）</b>	
1	つくばフェスティバル（国際交流フェア）
2	文化交流 （ア）世界お茶のみ話 （イ）日本・外国文化体験
3	姉妹友好都市交流（拡充：大田市とのオンライン講座の開催）
4	おもてなし英会話（名称変更）
5	通訳・翻訳・ホームステイ・文化紹介ボランティア募集・派遣 （ア）通訳・翻訳・ホームステイ・文化紹介ボランティア募集・派遣 （イ）ボランティア交流会（新規）
6	シティチャットカフェ
<b>C 情報収集・周知・ニーズ調査事業（対象：外国人・日本人）</b>	
1	ニーズ調査・広報（ホームページ・facebook・Link!発行）
2	賛助会員募集
3	10周年記念事業準備会（新規）

### 旅券発給支援事業

<b>D 旅券発給支援に関する事業（対象：日本人）</b>
-------------------------------

## (2)事業詳細

### A 外国人生活支援事業(対象:外国人)

#### 1 日本語講座(大人向け)

##### 【概要】

つくば市に在住する外国人を対象に、日常生活に必要な日本語の習得を目的として、教室運営を日本語ボランティア講師（TIVONA の会）にお願いし、新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンライン（Zoom）開催とした。

当初、対面授業も計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大が改善しないことから、オンラインのみの開催となった。

また、ボランティア待遇改善として、オンライン講座においても謝礼を支払うこととした。

さらに、ボランティアの育成のため、日本語ボランティア入門講座及び現ボランティアのための勉強会を開催した。

##### (ア) 日本語講座

##### 【実績】

①クラス数：全8クラス（日本語1～3・日本語の会）

②期 間：前期（4月～9月、120回）、後期（10月～3月、120回）

③方 法：オンライン（Zoom）開催

④受講者数及び講師数：

	受講者	講師
前 期	120名	28名
後 期	94名	27名
合 計	214名	55名

⑤参加費：2,000円

##### 勉強会「動詞のグループ分け」と「活用」の教え方

##### 【実績】

①期 日：2023年3月18日

②講 師：坂本舞氏（インターカルト日本語学校講師）

③対象者：TIVONAの会会員

④方 法：オンライン（Zoom）開催

⑤参加者：20名

⑥参加費：無料

##### (イ) 日本語ボランティア講師入門講座

##### 【実績】

- ①期 日：2022年9月8日、15日、22日、見学（全4回）
- ②講 師：井上里鶴（りず）氏 茨城県日本語教育アドバイザー、TIVONAの会
- ③対象者：ボランティアで外国人に日本語を教えてみたい人
- ④方 法：オンライン（Zoom）開催
- ⑤参加者：20名
- ⑥参加費：2,500円

## 2 こども日本語・就学・進学支援

### 【概要】

外国につながる子ども達の日本語指導及び就学・進学支援を行うため、こども日本語指導者の育成や小中学校への就学、高校への進学ガイダンスを行った。

また、つくば市内の子ども達の日本語指導の課題や今後の支援のあり方などについて、関係団体と共有し、対応していくための会議を実施した。

### （ア）こども日本語指導者研修会

日本語指導が必要な児童生徒に対する指導者を育成するため、座学と実習を行った。修了者のうち4名がこども日本語勉強会で継続的な活動を始めた。

### 【実績】

- ①開催日：座学：2022年8月2日、5日、9日  
実習：9月以降 2回（計5日間）
- ②場 所：つくば国際会議場及び、つくばスタートアップパーク内
- ③参加者：24名（修了者18名）
- ④参加費：2,000円

### （イ）こども日本語勉強会(日本語学習相談)

つくば市教育委員会及び認定NPO法人リヴォルヴ学校教育研究所との連携により、こども日本語勉強会を開催した。

### 【実績】

- ①開催日：（前期）2022年4月12日～2022年10月7日（火曜日、金曜日）  
（後期）2022年10月11日～2023年3月17日（火曜日、金曜日）
- ②回 数：クラス76回、日本語力チェック及び保護者面談11回、
- ③対 象：つくば市内の公立学校に通う5年生以上高校生以下
- ④参加者：22人（延べ674人、平均8.9人）（アフガニスタン、アンゴラ、インド、エジプト、スリランカ、タイ、パキスタン、マレーシア、南スーダン、台湾、中国、日本(フランス)）
- ⑤講 師：23人（延べ538人 平均7.1人）
- ⑥内 容：講師は、こどもの日本語力を確認するとともにその状況を保護者に説明し、こどものレベルに合ったテキストに沿って学習に臨めるようにした。また、定期的にミーティングを実施し、指導方法について講師間で共有した。



⑦参加費：無料

### (ウ) 小中学校就学、高校進学ガイダンス

つくば市教育委員会との協働事業として、小中学校への就学、高校進学ガイダンス、日本語力チェック及び日本語学習のアドバイスを小中学校就学、進学ガイダンスを実施した。このガイダンスでは、7か国語（日本語、英語、スペイン語、タリ語、中国語、シンハラ語、タイ語）で説明を行った。

#### 【実績】

- ①開催日：2022年9月23日
- ②場 所：つくば国際会議場
- ③内 容：小中学校就学ガイダンス、高校進学ガイダンス、  
日本語力チェック、日本語学習相談
- ④参加者：25家庭60名、運営：11名  
内訳（重複参加あり）  
小中学校ガイダンス：33人  
高校ガイダンス：31人  
日本語チェック：11人（他に数名が後日実施を希望）
- ⑤対応言語：日本語、英語、スペイン語、タリ語、中国語、シンハラ語、タイ語
- ⑥参加費：無料

### (エ) つくば子ども日本語支援プラットフォーム

市内の小中学校において日本語学習が必要な児童生徒への支援方法について、日本語教育に携わる団体等が情報共有と情報交換を行い、具体的な活動に繋げていく機会を作ることを目的に実施した。

構成団体：筑波大学、筑波学院大学、風の会、つくば市教育委員会学び推進課、つくば市市長公室国際都市推進課、当協会（主催者）、NPO センターコモンズ（アドバイザー）

#### 【実績】

- ①開催日：6月2日
- ②開催場所：オンライン
- ③内 容：つくば市の日本語学習要支援者の課題整理及び具体的な活動について議論した。
- ④参加者：筑波大学、風の会、つくば市教育局学び推進課、つくば市市長公室国際都市推進課、当協会、NPO センターコモンズ（アドバイザー）

## 3 医療通訳ボランティア派遣

#### 【概要】

外国人が医療機関を受診する際、母国語で安心して診察を受けられるように、「医療通訳ボランティア派遣協定」を締結した医療機関の依頼に基づいて、医療通訳ボランティアを派遣した。

つくば市医師会に加盟する市内クリニックや診療所に対して、外国人患者の受診頻度や医療通訳の必要性などについてアンケートを実施した。

#### 【実績】

##### (ア) 医療通訳ボランティア派遣

派遣件数：6件（中国語：4件、スペイン語：2件）

#### ・参考

2019年度から筑波大学附属病院、筑波メディカルセンター病院、いちほら病院及び茨城県立医療大学付属病院の3医療機関と医療通訳ボランティア派遣協定を締結し費用の有料化を開始した。

派遣料：1回 3,000円

##### (イ) 市内クリニック、診療所アンケート調査

①実施期間：7月15日～8月5日

②実施方法：QRコードまたはFAXにて回答

③対象：つくば市医師会に加盟するクリニック及び診療所など

④内容：外国人患者の受診頻度、医療通訳の必要性、課題など

⑤結果：

アンケート送付数：150

回答数(回答率)：31 (20.7%)

- ・中国語、ベトナム語、英語、ポルトガル語などの必要性がある
- ・診療には通訳者の同伴をお願いしている。機械通訳の使用。院内話者が対応
- ・受付、問診、診察時に必要
- ・医療機関で通訳費用の負担は困難

## 4 メディカル英会話講座

#### 【概要】

市内の医療従事者を対象に、外国人の病院受診で必要となる受付・問診票の記入・医師の診察・支払いや保険の説明・次回の予約についてのメディカル英会話講座を行った。講座は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、Zoom利用によるオンライン講座として実施した。

なお、当協会賛助会員及び医療通訳派遣協定締結病院の特典として、会員及び登録事業所等勤務者の受講料を免除した。

#### 【実績】

①期日：11月3日（木・祝） 60分/回

②場所：Zoom利用によるオンライン講座

③内容：「薬の処方」・「内科」・「受付」・「産婦人科」の4科目

④参加者：延べ38人

（「薬の処方」11人・「内科」9人・「受付」13人・「産婦人科」5人）

⑤参加費：1科目1,000円

※ただし、当協会賛助会員（法人、団体、個人）、医療通訳派遣協定

締結病院関係者は無料

※ 協定病院：筑波大学付属病院、筑波メディカルセンター病院、  
いちほら病院

## 5 やさしい日本語で防災講座

### 【概要】

外国人につながる方々を対象に、やさしい日本語を使い地震体験会を行い、防災の知識や対処方法を周知することを目的として開催した。

なお、この活動は、一般社団法人減災サステナブル大賞 防災・減災×SDGs 賞アカデミー&ジュニアアカデミー部門のコミュニティー賞を受賞した。

### 【実績】

- ①事業名：やさしい日本語で地震体験
- ②期 日： 12月3日
- ③場 所：オンライン (Zoom)
- ④講 師：水谷浩子氏 (防災士)
- ⑤参加者：66人、スタッフ・ボランティア：15人
- ⑥主 催：筑波大学社会貢献プロジェクト にほんごでおしゃべり！プロジェクトチーム
- ⑦共 催：つくば市国際交流協会
- ⑧後 援：つくば市、つくば市教育委員会

## 6 ウクライナ避難民支援事業

### 【概要】

ウクライナから戦争のため、つくば市に避難民として来日した方を支援するため、次の事業を実施した。

### 【実績】

#### (ア) 協会独自の募金活動

ウクライナの人道危機対応及び救援活動を支援するため、令和4年4月7日(金)から5月31日(火)までの間、当協会窓口に募金箱を設置した。

募金の総額は7,115円となり、日本赤十字社茨城県支部つくば市地区にお渡しした。

#### (イ) 民間団体からの義援募金の分配

民間団体等から市内に避難されているウクライナの方々を支援したいので、集めた募金等を直接その方たちにお渡ししたいとの要望があったことから、市と連携して当協会が該当者に募金を分配した。

#### 第1回

分配依頼団体名 「つくば道花の会(1回目)」様

金額 133,574円

分配基準日の6月末現在、つくば市に居住者する9名の方に対し受取希望調査を行い、9月21日までに、受取希望者6名の方々に一人当たり22,000円を直接渡すとともに、生活状況のヒアリングを実施した。

## 第2回

分配依頼団体名 「つくば市ゴルフ協会」様  
「つくばワールドフットサル実行委員会事務局」様  
「つくば道花の会（2回目）」様

合計金額 327,302円

分配基準日の11月8日現在、つくば市に居住者する38名の方に対し受取希望調査を行い、1月20日までに、受取希望者27名の方々に一人当たり12,000円を直接渡すとともに、生活状況のヒアリングを実施した。

## 第3回

分配依頼団体名 「つくば道花の会（3回目）」様  
「Photo Communication」様

合計金額 84,646円

募金の分配作業は、現在調整中

## (ウ) 日本語学習支援

来日から日が浅く、日本語がわからない人のために、日本語講座を開催及び当協会の日本語講座を無料で受講（9月～2月）の機会を提供

○9月の1か月間、10月から日本語学校に入学予定のウクライナ避難民2名に対し、修学前の日本語教育をTIVONAの会がオンライン（ZOOM）で実施した。

※実績：全13回、日本語ボランティア 2名  
2人に対して13回

○10月～2月 3人

## (エ) ウクライナ料理交流会

ウクライナ避難民の皆さんの交流の機会をつくるため、年配の避難民の方が先生となり、参加者全員でウクライナ家庭料理を作り試食するなど、交流を行った。

第1回 日時 2月16日 午前10時～午後2時  
場所 春日交流センター 調理室  
人数 5人

第2回 日時 3月21日 先生の都合により中止

## B 文化交流事業(対象:日本人・外国人)

### 1 フェスティバル事業(国際交流フェア)

#### 【概要】

外国文化の体験(団体活動紹介、民芸品展示・販売、各国の料理販売)を通して、異文化の理解や交流を目的として開催した。

#### 【実績】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンラインで実施した。

2019年度出展者に対して、スタンプラリーの参加を依頼した。(25団体)

### 2 文化交流

#### (ア) 「～一杯のお茶から世界が見える～ 世界お茶のみ話」(交流会)

#### 【概要】

主に講演者の母国の紹介又は外国人の支援などを行う方々の活動を紹介し、国際理解の一助となることを目的として実施した。

#### 【実績】

期日	国名	講師	参加者数	YouTube 閲覧数
2022年 4月16日	第56回 ジョージア	ダヴィド ゴギナシュヴィリ	6名	469回
5月21日	第57回 オーストラリア	上堂 蘭 アン	10名	342回
6月18日	第58回 フランス	セイフェン ジャワ	10名	336回
7月16日	第59回 ネパール	ネウパネ アルズン	11名	271回
8月20日	第60回 中国深圳市	深圳市第二高等学校生徒の皆さん	10名	257回
9月17日	第61回 ウズベキスタン	ハサノフ フィルダウス パク オリガ	37名	113回
10月8日	第62回 メキシコ	温祥子	11名	60回
11月19日	第63回 韓国	キムコンヒ	12名	80回
12月18日	第64回 つくば・インターナショナル・スクール	TISの生徒の皆さん	17名	調整中
2023年 1月21日	第65回 イギリス	ソフィー コン	22名	188回
2月18日	第66回 ラオス	石原ゆり奈	17名	70回
3月18日	第67回 ケニア	ミタロ・オスカー・ウィテレ	31名	59回

新型コロナウイルス感染防止のため下記の対策を講じている。YouTube配信は継続的に行っている。

#### ※ 新型コロナウイルス感染防止対策

- ・人数を20名に制限して実施していたが、3月から定員を増やした。
- ・飲食の提供を中止、・座席の十分な間隔を確保

- ・参加者の検温や体調の確認、・マスク着用、アルコール消毒の徹底

## (イ) 日本・外国文化体験

### 【概要】

新型コロナウイルス感染症拡大以前は、インドネシアの中高生がつくばを訪れ、ホームスティや交流を行ってきたが、コロナ感染拡大等により交流等も中止となっていた。

今年に入り、コロナウイルスの水際対策が緩和されたことを受け、12月日本に来日し、7日から10日までつくばに滞在することとなり、その間、着物着付けや茶道の体験をできないかとの依頼があったことから、協会の国際交流事業の一環として、つくばでの日本文化体験を支援することとなった。

### 【実績】

- ①期 日：12月10日
- ②場 所：つくば市さくら民家園
- ③講 師：ボランティア・着物愛好会、茶道有志の会
- ④参加者：インドネシア中高生 25名
- ⑤内 容：着物の着付けと茶道体験

## 3 姉妹・友好都市等交流事業

### 【概要】

市の友好都市である韓国大田広域市との日韓青少年交流は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を延期し、令和5年度から再開に向け調整をしている。

このようなことから、交流活動の継続のため、オンライン（Zoom）を使い、「にているけど違うもの」をテーマに茶道及び料理による交流を昨年に引き続き実施した。

### 【実績】

期 日	タイトル	内 容	参加者
11月5日	茶道	日韓両国の茶道のお手前の体験	日本：6名 韓国：11名
11月26日	料理	日本：海苔巻き、味噌汁など 韓国：キムパッ、テンジャンチゲなど	日本：10名 韓国：12名

場 所：つくばスタイル館、並木交流センター  
協 力：茶道有志の会、KOREA 文化交流協会

## 4 おもてなし英会話

### 【概要】

つくば市を訪れる外国人観光客や市内在住外国人の対応を、やさしい英語（中学校レベルの英語で会話すること）を使ってできよう、様々な場面の応じた英会話のヒントを学ぶ講座を開催した。

また、開催は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、Zoom 利用によるオンライン講座として実施した。

なお、当協会賛助会員の特典として、受講料を免除した。

**【実績】**

- ①期 日：12月3日、12月10日 全2回、各日1時間
- ②場 所：Zoom 利用によるオンライン講座
- ③参加者：12月3日4人、12月10日4人
- ④参加費：2,000円 ただし、当協会賛助会員（法人、団体含む）無料

## 5 通訳・翻訳・ホームステイ・文化紹介、ボランティア派遣

**【概要】**

各種団体からの要請に基づき登録ボランティアに依頼・派遣し、国際交流や多文化共生の推進に寄与している。

**【実績】**

- ①通 訳：7件（世界お茶のみ話、日韓交流事業）
- ②翻 訳：2件（つくば市ライフプランすこやか 2022 版、2023 版 英語・中国語）
- ③ホームステイ：0 件
- ④文化紹介：0 件

## 6 シティ・チャットカフェ

**【概要】**

筑波大学及び協会の共催事業として、オンラインにて実施した。毎回、筑波大学留学生4～5名がコーディネーターとして参加し、1班4人程度のグループに分かれ、英語や日本語でフリートーキングを行った。

**【実績】**

- ② 開催回数：年13回（協会担当 1月～3月）
- ②場 所：Zoom 利用によるオンライン開催
- ③ 参加者：各回20～25人程度
- ④ 参加費：無料

日	参加者人数 (人)	スタッフ人数 (人)	合計 (人)
1月15日	8	3	11
2月19日	11	4	15
3月19日	10	2	12

## C 情報収集・周知・ニーズ調査事業(対象:外国人・日本人)

### 1 ニーズ調査ホームページ、facebook、Link! 発行・

#### (ア) ホームページ・facebook

##### 【概要】

当協会の事業を広く周知するため、可能な限りリアルタイムに情報を発信する。

##### 【実績】

イベント案内、報告、後援団体の情報を随時掲載した。

#### (イ) ニュースレター発行

##### 【概要】

当協会の向こう数ヶ月に実施する予定の事業について周知することを目的に、ニュースレターを創刊し、区会回覧を行なった。

##### 【実績】

発行:ニュースレターvol.1(2022年10月1日)創刊

発行部数:6,500部

配布先:区会回覧及び協会窓口、交流センターなど

#### (ウ) Link! 発行

##### 【概要】

当協会の事業を広く周知するため、ニュースレターとして「Link!」を発行し、活動状況報告や直近のイベント予定などを掲載する。

##### 【実績】

発行:Link! 第15号(2023年3月)発行。

発行部数:1,000部

配布先:賛助会員及び協会窓口にて配布したほか、つくば市中央図書館、窓口センター、交流センターなど市内各公共施設に配布した。

#### (エ) ニーズ調査

##### 【概要】

2021年に市の国際交流室で外国人にアンケート調査の結果を受けて分析する。

##### 【実績】

市の国際交流室で実施した外国人意識調査の結果も踏まえ、2023年度事業計画に反映した。

### 2 賛助会員募集

##### 【概要】

協会の支援者及び自主財源を得ることで、安定した協会運営を維持する。



**【実績】**

個人会員：138 口、 団体会員：2 口、 法人会員：10 口  
 会費合計：496,000 円

**D 旅券発給支援に関する事業(対象:日本人)****【概要】**

つくば市民の旅券申請手続きに必要な印紙・証紙、葉書、切手などの販売及び証明写真の撮影を行うことで、市民へのサービス提供と当協会の財源確保を図る。

**【実績】**

年度別、パスポート用印紙・証紙セット販売及び写真撮影件数の推移  
 (単位:件)

年 度	印紙・証紙セット販売数			写真撮影
	10 年	5年	12 歳未満	
H25	4,448	2,638	980	3,192
H26	4,493	2,461	1,147	3,561
H27	4,738	2,500	1,212	3,838
H28	5,583	2,609	1,263	4,417
H29	5,672	2,788	1,350	3,252
H30	6,197	2,823	1,472	3,650
H31(2019)	5,945	2,767	1,381	3,323
R2 (2020)	1,075	288	139	790
R3 (2021)	916	254	189	727
R4 (2022)	3,839	1,172	728	2,574

※ 2022年度になって2021年度比で280%以上の販売数となっており、特に2023年1月からは400%以上に増加している。2019年度の印紙・証紙セット販売数の合計と比較すると約56.9%の回復となっている。

# 2022 年度決算報告書

〔 自:2022 年 4 月 1 日 〕  
〔 至:2023 年 3 月 31 日 〕

一般財団法人つくば市国際交流協会

# 貸借対照表

2023年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	17,250,597	15,200,483	2,050,114
未収金	236,384	81,785	154,599
棚卸資産	9,469,112	7,166,478	2,302,634
前払費用	51,051	8,328	42,723
流動資産合計	27,007,144	22,457,074	4,550,070
2. 固定資産			
(1)基本財産			
預金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(2)特定資産			
退職給付引当資産	5,821,000	4,929,000	892,000
特定資産合計	5,821,000	4,929,000	892,000
固定資産合計	8,821,000	7,929,000	892,000
資産合計	35,828,144	30,386,074	5,442,070
II 負債の部			
1. 流動負債			
短期借入金	3,000,000	4,000,000	△ 1,000,000
未払金	5,886,529	3,492,258	2,394,271
前受金	32,000	48,000	△ 16,000
預り金	604,912	593,159	11,753
流動負債合計	9,523,441	8,133,417	1,390,024
2. 固定負債			
退職給付引当金	5,821,000	4,929,000	892,000
固定負債合計	5,821,000	4,929,000	892,000
負債合計	15,344,441	13,062,417	2,282,024
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	3,000,000	3,000,000	0
指定正味財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(3,000,000)	(3,000,000)	(0)
2. 一般正味財産			
その他一般正味財産	17,483,703	14,323,657	3,160,046
一般正味財産合計	17,483,703	14,323,657	3,160,046
正味財産合計	20,483,703	17,323,657	3,160,046
負債及び正味財産合計	35,828,144	30,386,074	5,442,070

# 正味財産増減計算書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	51	51	0
基本財産受取利息	51	51	0
特定資産運用益	0	0	0
特定資産受取利息	0	0	0
事業収益	97,314,063	36,099,312	61,214,751
旅券発給支援に関する事業収益	97,314,063	36,099,312	61,214,751
受取補助金等	29,162,678	32,213,521	△ 3,050,843
受取地方公共団体補助金	29,162,678	32,213,521	△ 3,050,843
受取負担金	1,198,169	745,647	452,522
受取負担金	1,198,169	745,647	452,522
受取会費	496,000	312,000	184,000
賛助会員受取会費	496,000	312,000	184,000
受取協賛金	0	0	0
受取協賛金	0	0	0
雑収益	1,500,353	130,224	1,370,129
受取利息	339	315	24
雑収益	14	129,909	△ 129,895
助成金	1,500,000	0	1,500,000
経常収益計	129,671,314	69,500,755	60,170,559
(2) 経常費用			
事業費	110,472,207	50,939,139	59,533,068
国際交流事業費	14,818,109	13,877,626	940,483
国際交流人件費(職員)	9,606,868	9,335,236	271,632
国際交流人件費(会計年度職員)	1,732,890	1,848,299	△ 115,409
国際交流事業費	3,478,351	2,694,091	784,260
旅券発給支援に関する事業費	95,654,098	37,061,513	58,592,585
管理費	16,039,061	19,500,842	△ 3,461,781
人件費	10,676,881	12,531,680	△ 1,854,799
本部運営費	5,362,180	6,969,162	△ 1,606,982
経常費用計	126,511,268	70,439,981	56,071,287
評価損益等調整前当期経常増減額	3,160,046	△ 939,226	4,099,272
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	3,160,046	△ 939,226	4,099,272
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額			
当期一般正味財産増減額	3,160,046	△ 939,226	4,099,272
一般正味財産期首残高	14,323,657	15,262,883	△ 939,226
一般正味財産期末残高	17,483,703	14,323,657	3,160,046
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000	0
指定正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000	0
III 正味財産期末残高	20,483,703	17,323,657	3,160,046

# 正味財産増減計算書内訳表

2022年4月1日から2023年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業	収益事業	法人会計	内部取引 消去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	0	0	51	0	51
基本財産受取利息	0	0	51	0	51
特定資産運用益	0	0	0	0	0
特定資産受取利息	0	0	0	0	0
事業収益	0	97,314,063	0	0	97,314,063
旅券発給支援に関する事業収益	0	97,314,063	0	0	97,314,063
受取補助金等	14,202,140	0	14,960,538	0	29,162,678
受取地方公共団体補助金	14,202,140	0	14,960,538	0	29,162,678
受取負担金	615,969	0	582,200	0	1,198,169
受取負担金	615,969	0	582,200	0	1,198,169
受取会費	0	0	496,000	0	496,000
賛助会員受取会費	0	0	496,000	0	496,000
受取協賛金	0	0	0	0	0
受取協賛金	0	0	0	0	0
受取寄付金	0	0	0	0	0
受取寄付金	0	0	0	0	0
雑収益	0	1,500,081	272	0	1,500,353
受取利息	0	67	272	0	339
雑収益	0	14	0	0	14
助成金	0	1,500,000	0	0	1,500,000
経常収益計	14,818,109	98,814,144	16,039,061	0	129,671,314
(2) 経常費用					
事業費	14,818,109	95,654,098	0	0	110,472,207
国際交流事業費	14,818,109	0	0	0	14,818,109
国際交流人件費(職員)	9,606,868	0	0	0	9,606,868
国際交流人件費(会計年度任用職員)	1,732,890	0	0	0	1,732,890
国際交流事業費	3,478,351	0	0	0	3,478,351
旅券発給支援に関する事業費	0	95,654,098	0	0	95,654,098
管理費	0	0	16,039,061	0	16,039,061
人件費	0	0	10,676,881	0	10,676,881
本部運営費	0	0	5,362,180	0	5,362,180
経常費用計	14,818,109	95,654,098	16,039,061	0	126,511,268
評価損益等調整前当期経常増減額	0	3,160,046	0	0	3,160,046
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	0	3,160,046	0	0	3,160,046
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額					
他会計振替額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	3,160,046	0	0	3,160,046
一般正味財産期首残高	0	11,965,905	2,357,752	0	14,323,657
一般正味財産期末残高	0	15,125,951	2,357,752	0	17,483,703
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	3,000,000	0	3,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	3,000,000	0	3,000,000
III 正味財産期末残高	0	15,125,951	5,357,752	0	20,483,703

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法によっている。

#### (2) 引当金の計上基準

退職給付引当金…職員の退職金の支給に備えるため、定年退職及び自己都合による退職支給額に相当する金額を計上している。

#### (3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。 (単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
預金	3,000,000	0	0	3,000,000
小計	3,000,000	0	0	3,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	4,929,000	892,000	0	5,821,000
小計	4,929,000	892,000	0	5,821,000
合計	7,929,000	892,000	0	8,821,000

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。 (単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
預金	3,000,000	(3,000,000)	(-)	-
小計	3,000,000	(3,000,000)	(-)	-
特定資産				
退職給付引当資産	5,821,000	(-)	(-)	(5,821,000)
小計	5,821,000	(-)	(-)	(5,821,000)
合計	8,821,000	(3,000,000)	(-)	(5,821,000)

### 4. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額および残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額および残高は、次のとおりである。 (単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
一般財団法人つくば市国際交流協会補助金	つくば市	-	29,162,678	29,162,678	-	-
合計		-	29,162,678	29,162,678	-	

## 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位:円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	預金	3,000,000	-	-	3,000,000
	基本財産計	3,000,000	0	0	3,000,000
特定資産	退職給付引当資産	4,929,000	892,000	-	4,929,000
	特定資産計	4,929,000	892,000	0	4,929,000

### 2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	4,929,000	892,000	0	0	5,821,000

# 財産目録

2023年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金	手元保管	運転資金として	437,033
	預金	普通預金	運転資金として	16,813,564
		常陽銀行	公益事業の運転資金として	6,103,284
		常陽銀行	旅券発給支援事業の運転資金として	9,274,857
		常陽銀行	管理事業の運転資金として	682,879
		常陽銀行	預り金用として	752,544
	未収金		3月分売りさばき手数料他	236,384
	棚卸資産		印紙・証紙在庫	9,469,112
	前払費用		4月分借入金利息ほか	51,051
流動資産合計				27,007,144
(固定資産)				
基本財産	預金	定期預金 常陽銀行	基本財産運用益はつくば市国際交流協会事業の財源として使用	3,000,000 3,000,000
特定資産	預金	定期預金 常陽銀行	退職給付引当金の支払い財源として積み立てている	5,821,000 5,821,000
固定資産合計				8,821,000
資産合計				35,828,144
(流動負債)				
	短期借入金	常陽銀行	旅券旅券発給支援事業の運転資金として	3,000,000
	未払金		3月分賃金ほか	5,886,529
	前受金		講座受講料ほか	32,000
	預り金			604,912
	源泉所得税		源泉所得税	18,470
	ほか所得税		職員、臨時職員分	100,008
	源泉市県民税		源泉市県民税	235,200
	社会保険		職員、臨時職員分	163,286
	ウクライナ避難民義援金		ウクライナ避難民義援金分	87,948
流動負債合計				9,523,441
(固定負債)				
	退職給付引当金		職員に対する退職金の支払いに備えたもの	5,821,000
固定負債合計				5,821,000
負債合計				15,344,441
正味財産				20,483,703



# 収支計算書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
基本財産運用収入	1,000	51	949
基本財産利息収入	1,000	51	949
特定資産運用収入	0	0	0
特定資産利息収入	0	0	0
事業収入	95,374,000	97,314,063	△ 1,940,063
旅券発給支援に関する事業収入	95,374,000	97,314,063	△ 1,940,063
補助金等収入	34,000,000	29,162,678	4,837,322
地方公共団体補助金収入	34,000,000	29,162,678	4,837,322
負担金収入	2,046,000	1,198,169	847,831
受取負担金収入	2,046,000	1,198,169	847,831
会費収入	906,000	496,000	410,000
賛助会員会費収入	906,000	496,000	410,000
協賛金収入	370,000	0	370,000
協賛金収入	370,000	0	370,000
雑収入	1,501,000	1,500,353	647
受取利息収入	1,000	339	661
雑収入	0	14	△ 14
助成金	1,500,000	1,500,000	0
事業活動収入計	134,198,000	129,671,314	4,526,686
2. 事業活動支出			
事業費支出	114,083,000	109,906,207	4,176,793
国際交流事業費支出	18,310,000	14,252,109	4,057,891
旅券発給支援に関する事業費支出	95,773,000	95,654,098	118,902
管理費支出	18,122,000	15,713,061	2,408,939
人件費支出	10,445,000	10,350,881	94,119
本部運営費支出	7,677,000	5,362,180	2,314,820
事業活動支出計	132,205,000	125,619,268	6,585,732
事業活動収支差額	1,993,000	4,052,046	△ 2,059,046
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
特定資産取得支出	892,000	892,000	0
退職給付引当資産取得支出	892,000	892,000	0
投資活動支出計	892,000	892,000	0
投資活動収支差額	△ 892,000	△ 892,000	0
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
借入金返済支出	1,000,000	1,000,000	0
短期借入金返済支出	1,000,000	1,000,000	0
財務活動支出計	1,000,000	1,000,000	0
財務活動収支差額	△ 1,000,000	△ 1,000,000	0
当期収支差額	101,000	2,160,046	△ 2,059,046
前期繰越収支差額	15,102,000	18,323,657	△ 3,221,657
次期繰越収支差額	15,203,000	20,483,703	△ 5,280,703

## 収支計算書に対する注記

### 1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、棚卸資産、前払費用、未払金、前受金及び預り金を含めている。  
 なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

### 2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	15,200,483	17,250,597
未収金	81,785	236,384
棚卸資産	7,166,478	9,469,112
前払費用	8,328	51,051
合計	22,457,074	27,007,144
未払金	3,492,258	5,886,529
前受金	48,000	32,000
預り金	593,159	604,912
合計	4,133,417	6,523,441
次期繰越収支差額	18,323,657	20,483,703

## 2023年（令和5年）度事業計画

〔 自：2023年4月1日  
至：2024年3月31日 〕

一般財団法人つくば市国際交流協会

## 2023年（令和5年）度事業計画の方針

2023年（令和5年）1月1日現在、つくば市には144か国12,090人（対前年度同月比2,122人の増）の外国人が居住し、国籍別では、中国籍者が最も多く、次いで、ベトナム、韓国、インド、フィリピンの順となっています。特に、ベトナム国籍者は当協会が一般財団法人化した2013年と比較して約12倍となっています。また、外国人の入国規制が緩和されたことから、昨年4月から2,138人の外国人居住者数が増加しており、今後も増加傾向にあります。

さらに、2020年（令和2年）初頭から始まった新型コロナウイルス感染拡大は、新たな変異株が生ずるなど、今も収まる気配はなく、当協会事業においても、一部で中止や延期など当初の計画どおりに実施できない状況が続いています。一方で、大人から子どもまで幅広い世代に対する日本語支援は、年々需要が増しており、大人日本語講座や子ども日本語勉強会においても、積極的にオンライン（Zoom等）を活用しながら事業を進めています。

このような中、当協会は、2013年（平成25年）2月に一般財団法人として設立され同年4月から業務を開始し、2023年（令和5年）は法人化後10周年を迎える節目の年となります。

また、2023年（令和5年）11月には、現在行われている、つくばセンタービルのリニューアル工事が完了し、新たな市民活動の拠点に当協会事務所も入居し、国際交流拠点としてスタートする予定です。この拠点では、幅広い世代の外国人および日本人市民が集い、交流、活躍できる場として、10周年記念事業も含め、事業を実施していきます。

このような状況に鑑み、2023年（令和5年）度は、引き続き、行政、教育関係及び関係団体等と連携し、より強い体制を整えるとともに、下記の3点を重点目標として取り組みを進めます。

### 【重点目標】

#### 1. 収束が見えないコロナ禍における事業展開

引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底しながら、感染状況に応じて、対面、オンライン等で柔軟に事業を行えるように工夫します。

また、オンラインを活用することで自宅や職場などから、手軽に事業に参加することが可能な環境が整いつつあるため、積極的に取り入れていきます。

## 2. 協会法人化後 10 周年と新たな国際交流拠点における事業の推進

当協会は、2023 年（令和 5 年）一般財団法人化後 10 周年を迎える節目として、これまでの歩みを振り返るとともに、外国人および日本人市民が集い、交流、活躍できる場として、多文化共生を推進する国際交流の拠点がスタートします。

事業実施にあたっては、幅広い世代の市民にこの拠点に来場してもらえるよう、11 月以降、新規事業や既存事業の拡充などにより 10 周年記念事業を実施します。

### (1) 世代を超えた外国人、日本人市民の交流、活躍の場（ボランティア）の提供

これまで協会事業は、場所の制限により、事業拡大が進まない状況でした。

今回リニューアルされるつくばセンタービル 3 階の講座室やその他共有スペース等を積極的に活用して、すべての市民がそこを訪れることで、交流やボランティアなどの活躍の場としていきます。

### (2) ボランティアの育成と登録ボランティアの事業拡大の検討

協会事業は、多くのボランティアの支援により成り立っていることから、新たな拠点を活用しながらボランティアの育成を進めるとともに、活動メニューの充実を図ります。

## 3. 協会活動のPRの推進（協会活動を市民に知ってもらい、参加いただくために）

これまで、協会の活動について、市民に十分PRができていないという課題がありました。今回、新たな国際交流拠点が整備されることから、拠点の紹介や取組などをSNS や広報誌等を活用して、わかりやすい情報を発信していきます。

## 年度別 事業計画 比較表

### 国際交流事業

2022 年度事業計画
<b>A 外国人生活支援事業（対象：外国人）</b>
1 日本語（大人向け） （1）日本語講座 （2）日本語ボランティア講師入門講座
2 こども日本語・就学進学支援 （1）こども日本語指導者研修会 （2）こども日本語勉強会（日本語学習相談）  （3）小中学校就学・高校進学ガイダンス （4）こども日本語支援 <sup>7</sup> プラットフォーム会議
3 医療通訳ボランティア育成・派遣
4 メディカル英会話講座
5 やさしい日本語で防災講座
<b>B 文化交流事業（対象：日本人・外国人）</b>
1 フェスティバル（国際交流フェア）
2 文化交流 （1）世界お茶のみ話 （2）日本・外国文化体験
3 姉妹友好都市交流
4 おもてなし英会話
5 ボランティア募集・派遣 （1）通訳・翻訳・ホームステイ・文化紹介  （2）ボランティア交流会
6 シティ・チャットカフェ
<b>C 情報収集・周知・ニーズ調査事業（対象：外国人・日本人）</b>
1 広報（ホームページ・facebook・Link!発行）、ニーズ調査（座談会）
2 10周年記念事業準備会
3 賛助会員募集
<b>旅券発給支援事業</b>
<b>D 旅券発給支援に関する事業（対象：日本人）</b>

2023 年度事業計画
<b>A 外国人生活支援事業（対象：外国人）</b>
1 日本語（大人向け） （1）日本語講座 （2）日本語ボランティア講師入門講座
2 こども日本語・就学・進学支援 （1）こども日本語指導者研修会 （2）こども日本語勉強会（日本語学習相談） <b>（3）15歳から18歳までのこども日本語勉強会（新規）</b> （4）小中学校就学・高校進学ガイダンス （5）こども日本語支援 <sup>7</sup> プラットフォーム会議
3 医療通訳ボランティア派遣
4 メディカル英会話講座
5 やさしい日本語で防災講座
<b>B 文化交流事業（対象：日本人・外国人）</b>
1 フェスティバル（国際交流フェア）
2 文化交流 （1）世界お茶のみ話 （2）日本・外国文化体験
3 姉妹友好都市交流（再開）
4 英語で交流（仮称） （旧おもてなし英会話を名称変更）
5 ボランティア募集・派遣 （1）通訳・翻訳・ホームステイ・文化紹介 <b>（2）市民を繋げる通訳ボランティア（チューター）派遣事業（新規）</b> （3）ボランティア交流会
6 シティ・チャットカフェ
<b>C 情報収集・周知・ニーズ調査事業（対象：外国人・日本人）</b>
1 ニーズ調査・広報（ホームページ・facebook・Link!発行）
<b>2 国際交流協会ラウンジ運営事業（新規）</b>
<b>3（仮称）10年記念事業（新規）</b>
4 賛助会員募集
<b>旅券発給支援事業</b>
<b>D 旅券発給支援に関する事業（対象：日本人）</b>

## 2023年（令和5年度）度つくば市国際交流協会事業一覧

### 国際交流事業

<b>A 外国人生活支援事業（対象：外国人）</b>	
1	日本語（大人向け） （1）日本語講座 （2）日本語ボランティア講師入門講座
2	こども日本語・就学・進学支援 （1）こども日本語指導者研修会 （2）こども日本語勉強会（日本語学習相談） <b>（3）15歳から18歳までのこども日本語勉強会（新規）</b> （4）小中学校就学・高校進学ガイダンス （5）こども日本語支援プラットフォーム会議
3	医療通訳ボランティア派遣
4	メディカル英会話講座
5	やさしい日本語で防災講座
<b>B 文化交流事業（対象：日本人・外国人）</b>	
1	つくばフェスティバル（国際交流フェア）
2	文化交流 （1）世界お茶のみ話 （2）日本・外国文化体験
3	姉妹友好都市交流（再開）
4	英語で交流（仮称）（旧おもてなし英会話を名称変更）
5	ボランティア募集・派遣 （1）通訳・翻訳・ホームステイ・文化紹介 <b>（2）市民を繋げる通訳ボランティア（チューター）派遣事業（新規）</b> （3）ボランティア交流会
6	シティ・チャットカフェ
<b>C 情報収集・周知・ニーズ調査事業（対象：外国人・日本人）</b>	
1	ニーズ調査・広報（ホームページ・facebook・Link!発行）
2	<b>国際交流協会ラウンジ運営事業（新規）</b>
3	<b>（仮称）10年記念事業（新規）</b>
4	賛助会員募集

### 旅券発給支援事業

<b>D 旅券発給支援に関する事業（対象：日本人）</b>
-------------------------------

## 2023年（令和5年）度つくば市国際交流協会事業詳細 国際交流事業

### A 外国人生活支援事業（対象：外国人）

#### 1 日本語（大人向け）

##### （1）日本語講座

###### ①【新規・拡充・**継続**・縮小・廃止】

②目的： 市内在住外国人を対象に、日常生活に必要な日本語（入門から初級）の修得を目的とする。

###### ③事業の工夫、予算上の特徴

外国人と交流をしながら日本語指導ができるボランティアの確保と指導スキルのレベルアップのため研修会を実施し、初心者でも安心して活動できる環境を作る。また、つくばセンタービルリニューアル後の対面授業を開始するために準備を進めていく。

###### ④概要：

- ・クラス：対 面 → 昼1クラス、夜1クラス、  
オンライン → 昼4クラス、夜4クラス
  - ・期 間：4月～9月、10月～3月
  - ・場 所：センタービル3階講座室
  - ・授業数：昼夜クラス 各期 15回  
(1回1時間程度、合計15時間)
  - ・定 員：各クラス15名
- ※ 日本語ボランティア講師（TIVONAの会）が担当する。

##### （2）日本語ボランティア講師入門講座

###### ①【新規・拡充・**継続**・縮小・廃止】

②目的： 日本語講座で講師をするボランティアを養成することを目的とする。

###### ③事業の工夫、予算上の特徴

初心者が安心して参加できる体制を TIVONA の会の協力を得て、実際の授業を見学しながら指導者として授業ができるようになるよう実施する。

###### ④概要：

- ・回 数：年1回（4日間）



## 2 こども日本語・就学・進学支援

### (1) こども日本語指導者研修会

#### ①【新規・拡充・**継続**・縮小・廃止】

②目的： 外国につながる児童生徒に対する日本語教育についての、日本語の指導方法を学び、こども日本語勉強会のボランティア講師を養成することを目的とする。

#### ③事業の工夫、予算上の特徴

- ・ ボランティア登録者は多いが、実際に活動に繋がる方は限られており、人材確保のため、継続して実施していく。

#### ④概要：

- ・ 実施時期：7月頃
- ・ 回数：5回（座学3回、実習2回）
- ※ 研修会修了者は、当協会にボランティア登録を行うとともに、下記（2）で活動するほか、教育委員会の求めに応じ、市内小中学校において日本語指導に協力する。

### (2) こども日本語勉強会（日本語学習相談）

#### ①【新規・拡充・**継続**・縮小・廃止】

②目的： 市内小中学校では、日本語支援が必要な児童生徒が毎年増加している。放課後などに個々のレベルに合わせた日本語学習支援を行うことを目的とする。

#### ③事業の工夫、予算上の特徴

- ・ 2021年度から始めた事業であり、参加者、保護者、ボランティア講師、つくばこども日本語支援プラットフォーム会議から出された課題や意見に対応しながら実施していく。
- ・ こどもの状態にあわせた指導を行えるよう、講師間のコミュニケーションの充実や指導スキルアップのための研修も並行して行っていく。

#### ④概要：

- ・ 期間：5月～10月、11月～3月  
（4月及び10月後半は保護者面談、教材準備など）
- ・ 場所：市内施設
- ・ 対象：公立の学校に通う小学5年生以上
- ・ 回数：75回程度（前期40回、後期35回）
- ※ 日本語学習方法などの児童生徒、保護者からの疑問に対するアドバイスも行う。様々な状況に対応するために、オンライン開催も柔軟に対応していく。

### (3) 15歳から18歳までのこども日本語勉強会

#### ①【新規・拡充・継続・縮小・廃止】

②目的： 学齢期を過ぎた外国につながるこどもは中学校に編入できず、同年齢の日本人のこどもたちと接する機会もないので、年齢相応の日常生活を送ることが困難と思われる。こうした状況を改善するために基礎的な日本語学習の場を提供することを目的とする。

#### ③事業の工夫、予算上の特徴

- ・ 基礎的な日本語の学習を行うとともに、個々のアイデンティティの形成を並行して行うことが大切であることから、母語文化や母語教室などを取り入れていく。この事業を広く周知のため区会回覧や各国キーパーソンに対して情報発信を行っていく。

#### ④概要：

- ・ 期間：週1回から2回程度
- ・ 場所：市内施設など
- ・ 内容：日本語学習。指導内容は、日常生活や進学、仕事などニーズに合わせて実施する。また、親子で参加できる母語文化、母語教室などにも対応していく。

### (4) 小中学校就学・高校進学ガイダンス

#### ①【新規・拡充・継続・縮小・廃止】

②目的： 日本の学校制度について分かりやすく説明することにより、就学や進学を目指す外国につながる児童生徒や保護者が、できるだけ早い時期から準備できるようにしていくことを目的とする。

#### ③事業の工夫、予算上の特徴

- ・ 各小中学校では進学説明会などが実施されているが、外国につながる児童生徒や保護者に対して母語での説明でないことが多いことから、言葉の問題に加え、文化の違いにより内容を理解できていないことも多い。参加者の母語を使って説明することでより理解が深まることが期待できる。
- ・ 要望があれば、可能な限り学校に出向き対応していく。

#### ④概要：

- ・ 期間：年1回（←回数2回から1回に減）
- ・ 場所：市内施設など
- ・ 内容：
  - ・ 小中学校の就学ガイダンス
  - ・ 高校進学ガイダンス
  - ・ こどもの日本語力チェックと日本語学習方法のアドバイス

### (5) つくば子ども日本語支援プラットフォーム会議

#### ①【新規・拡充・**継続**・縮小・廃止】

②目的： つくば市内の小中学校において日本語指導が必要な外国につながる児童生徒への支援の方法について、日本語教育に携わる団体等が情報共有又は支援の方法について情報交換し、具体的な活動に繋がっていく機会を作ることを目的とする。

#### ③事業の工夫、予算上の特徴

- ・ 5年後を目途に、つくば市のプレスクール（日本語初期指導の場）開設を目標に、先進地域の取り組みを視察するなどしてプラットフォーム内で共有する。

#### ④概要：

- ・ 実施回数：年3回程度
- ・ 参加団体：筑波大学、筑波学院大学、茨城 NPO センターコモンズ  
つくば市教育局学び推進課、つくば市市長公室国際都市推進課など

### 3 医療通訳ボランティア派遣

#### ①【新規・**拡充**・継続・縮小・廃止】

②目的： 市内在住外国人が病院で安心して受診できるよう患者の母語で通訳を行うことを目的とする。

#### ③事業の工夫、予算上の特徴

2019年度（平成31年度）からは、医療通訳ボランティア派遣に関する協定締結済み医療機関への派遣に制度変更となったため、より多くの医療機関と協定締結を進める。

また、感染症対策として遠隔通訳を導入し、対面に加えオンラインによる通訳方法を整備する。このことにより医療機関及び医療通訳ボランティア双方が安心して利用できる制度構築を目指す。

#### ④概要：

ア：医療通訳ボランティア派遣

- ・ 派遣：随時（病院からの要請による）
- ・ 派遣先：医療通訳ボランティア派遣協定を締結した病院、クリニック等
- ・ 対応言語：英語・中国語・スペイン語・ポルトガル語

イ：医療通訳ボランティア勉強会

- ・ 回数：2～3か月毎開催（言語により異なる）
- ・ 場所：つくば市内またはオンラインミーティング

#### 4 メディカル英会話講座

##### ②【新規・拡充・**継続**・縮小・廃止】

②目的： 外国人患者が病院に受診する際に、受付から診療まで英語でスムーズな対応ができるようになること、また、ipad を用いて、翻訳機能を使いながら対応する方法を実践する。

##### ③事業の工夫、予算上の特徴

- ・ 外国人講師が、患者の気持ちに寄り添った対応の仕方、英語を母語としない人にも伝わるやさしい英語で話すコツを教える。
- ・ 医療通訳ボランティア協定病院の勤務者及び賛助会員の特典事業とする。
- ・ 賛助会員の特典事業とする。

##### ④概要：

- ・ 回数：年1回11月
- ・ 場所：つくば市内またはオンライン
- ・ 対象：病院・クリニックの受付事務担当者、看護師、医師など医療従事者

#### 5 やさしい日本語で防災講座

##### ①【新規・拡充・**継続**・縮小・廃止】

②目的： 外国人につながる方々を対象に、防災に関する講演や体験会を行い、防災に関する知識や対処方法を周知することを目的とする。

##### ③事業の工夫、予算上の特徴

- ・ 防災や、やさしい日本語に対する専門知識や経験のある外部団体と共催し、外国人に対して理解しやすい内容で周知できるよう工夫する。

##### ④概要：

- ・ 期日：10月の防災の日前後
- ・ 回数：年1回～2回
- ・ 場所：市公共施設またはフィールドワーク
- ・ 講師：防災士など
- ・ 参加者：100人程度

## 文化交流事業（対象：日本人・外国人）

### 1 フェスティバル（国際交流フェア）

#### ①【新規・拡充・**継続**・縮小・廃止】

②目的： イベントにおいて、世界の舞踊や歌の披露、料理実演販売、国際理解プログラムなどを行うことで、多様な人々の相互理解や市民交流、地域参画など、国際交流と多文化共生社会の推進を目的とする。

#### ③ 事業の工夫、予算上の特徴

- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響から過去2年間、オンラインでの開催となった。2023年度について開催方法や規模については、柔軟に対応していく。
- ・ 賛助会員の特典事業とする。

#### ④概要：

- ・ 実施日：令和5年5月13日、14日（予定）
- ・ 募集团体：飲食・物販・団体紹介など25団体、ステージ発表10団体程度

### 2 文化交流（世界お茶のみ話、日本・外国文化体験など）

#### （1）世界お茶のみ話（講演会）

#### ①【新規・拡充・**継続**・縮小・廃止】

②目的： つくばに繋がりのある外国人が、母国やその周辺で起こっていることを伝え、課題を共有するとともに、日本又はつくばから何ができるのかなど、講演者と聴講者との間で議論することで、相互理解と交流促進を目的とする。

#### ③事業の工夫、予算上の特徴

- ・ 聴講者が発言しやすい雰囲気を作ることに心掛けるとともに、オンライン環境を生かして、海外からの参加も募っていく。

#### ④概要：

- ・ 実施日：毎月第3土曜日 15：45～17：15
- ・ 回数：年12回
- ・ 場所：つくばセンタービル（仮称）市民活動の拠点

#### （2）日本・外国文化体験

#### ①【新規・拡充・**継続**・縮小・廃止】

②目的： 各国の料理や文化体験を通して、多文化共生（国際理解）の促進に寄与することを目的とする。

#### ③事業の工夫、予算上の特徴

対面で実施が難しい場合は、オンライン講座も検討する

#### ④概要：

- ・ 回数：年6回程度
- ・ 場所：市内交流センターなど公共施設、大学など
- ・ 内容：日本・外国料理、各国文化体験など

### 3 姉妹友好都市交流 青少年交流事業

#### ①【新規・拡充・継続・縮小・廃止】

②目的： 日韓両国の青少年が文化体験を通して相互理解を深め、将来の日韓の文化交流の懸け橋となるような人材を育てることを目的とする。

#### ③事業の工夫、予算上の特徴

- ・ コロナ禍で両国間の往来ができなかったが、相互訪問の再開を目指していく。本年度は、韓国大田市に訪問する方向で調整していく。

なお、継続的な相互訪問の再開を目指し、新型コロナウイルス感染症の状況を注視していく。

#### ④概要：

- ・ 時期：7月～8月頃
- ・ 回数：1回程度
- ・ 場所：韓国大田広域市
- ・ 内容：文化交流、ホームステイ

### 4 英語で交流（仮称）（名称変更：旧おもてなし英会話）

#### ①【新規・拡充・継続・縮小・廃止】

②目的： 来訪する外国人観光客やつくば市在住外国人に対し、やさしい英語を使って様々な場面で対応できるコミュニケーション術を身に着けることを目的とする。

#### ③事業の工夫、予算上の特徴

- ・ 外国人講師が経験を元に、コミュニケーションのノウハウを教えると共に、つくば在住の外国人に講座に参加してもらい、やさしい英語を使ってコミュニケーションを実践する。
- ・ 賛助会員の特典事業とする。

#### ④概要：

- ・ 回数：年1回 11月頃を予定

## 5 通訳・翻訳・ホームステイ・文化紹介ボランティア募集・派遣

### (1) 通訳・翻訳・ホームステイ・文化紹介ボランティア募集・派遣

#### ①【新規・拡充・**継続**・縮小・廃止】

②目的： 市民・留学生・JICA 研修員などの依頼者に対し、通訳やホームステイ等の支援を行うことを目的とする。

#### ③事業の工夫、予算上の特徴

文化紹介については、子どもにも分かりやすいパワーポイント作成を依頼しており、同時にやさしいにほんごを使って説明を行うよう推奨している。

#### ④概要：

- ・文化紹介：市内小学校・幼稚園・保育所、特別支援学校などで開催される国際交流イベントなどに外国人を派遣する。  
時期：随時
- ・通訳、翻訳：随時
- ・ホームステイ：随時

### (2) 市民を繋げる通訳ボランティア（チューター）派遣事業

#### ①【**新規**・拡充・継続・縮小・廃止】

②目的： 日常生活の各種手続き等で気軽に聞ける場を提供するため、チューター（日常生活の助言をくれる人）を育成し派遣する。

#### ③事業の工夫、予算上の特徴

特に、来日間もない外国人や、初めて子どもを保育園、幼稚園、学校に入れる外国人の保護者に対して支援する。

初年度は、チューターの研修・登録を経て、利用希望者募集、派遣に至るまでの、システム構築を進める。

また、市役所窓口の混雑期などについても、チューターが同行することにより、手続き時間の短縮になるよう務める。

#### ④概要：

- ・チューター研修会：7月頃（3～4回）
- ・チューター登録：9月頃
- ・利用者募集：9月頃
- ・派遣開始：10月頃

### (3) ボランティア交流会

#### ①【新規・拡充・**継続**・縮小・廃止】

②目的： 協会に登録している各種ボランティアが交流することにより、他の活動を知るとともに、活動の機会を増加させることを目的とする。

#### ③事業の工夫、予算上の特徴

過去数年間に活動したボランティアの方々の体験を聞くとともに、協会の活動を活発にするための意見交換を行い、事業へ反映できるものを見つけていく。



**④概要：**

- ・ 期 日：12月頃
- ・ 回 数：年1回
- ・ 場 所：市内公共施設
- ・ 講演者：協会登録ボランティア 10名程度
- ・ 内 容：事例発表、グループミーティングなど
- ・ 参加人数：50人

**6 シティ・チャットカフェ**

**①【新規・拡充・継続・縮小・廃止】**

**②目的：** 英語で気軽におしゃべりすることにより市内在住の外国人留学生と国際交流することを目的とする。

**③事業の工夫、予算上の特徴**

筑波大学留学生にコーディネーターの役割を依頼し、フレンドリーな雰囲気づくりに寄与してもらい、より気軽に誰でも参加しやすいイベントを目指す。

**④概要：**

- ・ 筑波大学と共催
- ・ 回 数：8回（毎月1回開催。うち協会は3回担当）
- ・ 場 所：グローバルビレッジ、つくばセンタービル又はオンライン

**C 情報収集・周知・ニーズ調査事業（対象：外国人・日本人）**

**1 ニーズ調査・広報**

**(1) ニーズ調査**

**①【新規・拡充・継続・縮小・廃止】**

**②目的：** 外国人・または日本人が、国際交流協会に何を求めているのか、協会の進むべき方向を検討する指針とするため、ニーズ調査を継続して行うことを目的とする。

**③事業の工夫、予算上の特徴**

各種事業の参加者にアンケート実施し、事業の改善や新たなニーズを調査していく。

**④概要：**

- ・ 時期：各事業終了後
- ・ 回数：1～2回程度
- ・ 内容：事業の感想、改善点、その他必要と考えられる事業などを、参加した外国人又は外国人に係わる人から聞き取る。



## (2) 広報

### ①【新規・**拡充**・継続・縮小・廃止】

②目的： 協会の事業を広く市民に周知することで、理解や多方面での支援をいただくため、各種広報媒体を活用し情報発信を行う。

### ③事業の工夫、予算上の特徴

当協会のホームページの他、市の国際交流室や他機関とも連携し、効果的な情報発信を行う。

また、区会回覧を活用し、協会の認知度の向上と取組を市民に広く周知していく。

### ④概要：

ホームページや facebook、Link!（機関誌）などを通じて周知する。

- ・ ホームページや facebook：随時
- ・ Link!（機関誌）：年2回発行
- ・ 区会回覧を活用したニュースレターの発行年4回程度

## 2 国際交流ラウンジ運営事業

### ②【新規・**拡充**・継続・縮小・廃止】

②目的： 外国人が必要とする日常生活に関連する様々な情報発信や、日本人との交流、地域参画を推進したい人やグループに場を提供することを目的とする。

### ③ 事業の工夫、予算上の特徴

外国人が必要とする情報の発信と問題点の聞き取りをするため、国際交流地域連携コーディネーターとして外国人を雇用する。

つくばには144カ国（2023年1月現在）の外国人が居住しているため、様々な言語で発信できるよう5カ国の雇用を検討する。

### ④ 概要：

- ・ 国際交流地域連携コーディネーターの配置

主な業務

- ア コミュニティの形成支援
- イ 外国人向け情報提供コーナーの設置及び運営
- ウ 各種広報媒体を活用した多言語での情報発信
- エ 新たな市民活動拠点（仮称）の交流スペースでの外国人と日本人の市民の交流の場の設置に係る事業の立案・実施
- ・ 雇用：平日各曜日1カ国（合計5カ国）の外国人を雇用
- ・ 時間：4時間から1日程度

### 3 (仮称) 10年記念事業

①【新規・拡充・継続・縮小・廃止】

②目的： 協会設立10周年の記念事業を2023年(令和5年)のつくばセンタービルのリニューアルに合わせて実施する。

③事業の工夫、予算上の特徴

10周年の歩みを振り返るとともに、新たな国際交流の拠点が整備され、活動がスタートしたことをたくさんの人に知ってもらう事業を進める。

⑤ 概要：

- ・ 時期：2月又は3月(予定)
- ・ 場所：つくばセンタービル市民活動の拠点内(仮称)
- ・ 内容：外国人のためのスピーチ大会(仮称)  
この他、既存事業についても、10周年を意識した事業として実施していく。

### 4 賛助会員募集

①【新規・拡充・継続・縮小・廃止】

②目的： 外国人支援や在住外国人との交流を深めるとともに、国際交流を通して多文化共生、国際理解、姉妹・友好都市との交流や財政面からも支援いただける方を募ることを目的とする。

③事業の工夫、予算上の特徴

コロナ禍においても、多くの方に共感いただき、支援いただけるような事業展開や情報発信を進めていく。  
会員にメリットがある事業を企画していく。

④概要： 協会を資金面から支援いただくために募集を行う。

- |      |    |            |
|------|----|------------|
| 個人会員 | 一口 | 2,000円/年度  |
| 団体会員 | 一口 | 10,000円/年度 |
| 法人会員 | 一口 | 20,000円/年度 |

## 旅券発給支援事業

### D 旅券発給支援に関する事業(対象：日本人)

①【新規・拡充・継続・縮小・廃止】

②目的： 市民のパスポート発行に伴う利便性の向上を図るため、パスポート用写真撮影、印紙・証紙、切手等の販売を行うことを目的とする。

③事業の工夫、予算上の特徴

2022年秋口までは、コロナウイルス感染拡大に伴い、売上が激減したが、規制緩和により海外の往来が始まったため、少しずつ回復の兆しが見えてきた。

コロナ前の売上げ回復は当面難しいことから、引き続き、職員配置の削減や12時から13時まで窓口を締めるなど、人件費削減を現状体制で継続していく。

④概要：

- ・ 営業日：月曜～金曜日(土日祝、12月29日～1月3日休み)
- ・ 時間：午前8時30分～午後5時15分(昼休みは除く)

# 2023 年度収支予算書

〔 自：2023 年 4 月 1 日 〕  
〔 至：2024 年 3 月 31 日 〕

一般財団法人つくば市国際交流協会

## 2023年度収支予算書(資金収支計算ベース)(案)

2023年4月1日から2024年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度	前年度	増減
I 事業活動収支の部			
1 事業活動収入			
① 基本財産運用収入	1	1	0
基本財産利息収入	1	1	0
② 事業収入	105,930	95,374	10,556
旅券発給支援に関する事業収入	105,930	95,374	10,556
③ 補助金等収入	43,895	34,000	9,895
地方公共団体補助金収入	43,895	34,000	9,895
④ 負担金収入	2,046	2,046	0
受取負担金収入	2,046	2,046	0
⑤ 会費収入	906	906	0
賛助会会費収入	906	906	0
⑥ 協賛金収入	370	370	0
協賛金収入	370	370	0
⑦ 雑収入	1	1,501	△ 1,500
受取利息収入	1	1	0
雑収入	0	0	0
受取助成金	0	1,500	△ 1,500
事業活動収入計	153,149	134,198	18,951
2 事業活動支出			
① 事業費支出	128,741	114,005	14,736
国際交流事業支出	23,811	18,310	5,501
給与(職員)	10,518	9,412	1,106
給与(非常勤職員)	994	968	26
事業費支出	12,299	7,930	4,369
旅券発給支援に関する事業支出	104,930	95,773	9,157
② 管理費支出	22,407	18,122	4,285
人件費支出	12,930	10,445	2,485
本部運営費支出	9,477	7,677	1,800
事業活動支出計	151,148	132,205	18,943
事業活動収支差額	2,001	1,993	8
II 投資活動収支の部			
1 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2 投資活動支出の部			
① 特定資産取得支出	1,001	892	109
退職給付引当資産取得支出	1,001	892	109
投資活動支出計	1,001	892	109
投資活動収支差額	△ 1,001	△ 892	△ 109
III 財務活動収支の部			
1 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2 財務活動支出			
① 借入金返済支出	1,000	1,000	0
短期借入金返済支出	1,000	1,000	0
財務活動支出計	1,000	1,000	0
財務活動収支差額	△ 1,000	△ 1,000	0
IV 予備費支出			
当期収支差額	0	101	△ 101
前期繰越収支差額	15,203	15,102	101
次期繰越収支差額	15,203	15,203	0

(注)借入金限度額 10,000,000円